

殺菌剤

使い続けるほど、
安定した防除効果を
発揮するのが、
ネビジンの強みです。

ネビジン[®]粉剤

ダブルパンチで ノックアウト!

ネビジンは「休眠胞子の発芽」と
「二次感染」を阻害し、
根こぶ病をノックアウトします。



ちよつと便利な包装規格!



ネビジン粉剤の規
格は3kg・10kgと、
比較的の小規格の
ため持ち運びが
容易です。



三井化学アグロ株式会社

根こぶ病と粉状そうか・そうか病防除に



有効成分：フルスルファミド…0.3%
人畜毒性：普通物※
※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- 1 キャベツ、はくさい、ブロッコリー、カリフラワー、なばな、かぶ、だいこんの根こぶ病防除に幅広く使用できます。
- 2 毎年使用すると効果がより安定します。

適用作物と使用方法

2015年4月1日現在

作物名	適用病害名	使用量 (kg/10a)	使用時期	本剤の使用回数	フルスルファミドを含む農薬の総使用回数	使用方法
キャベツ	菌核病	30	定植前	2回以内	2回以内	全面土壌混和
		20~30				作条土壌混和
はくさい ブロッコリー カリフラワー なばな 非結球あぶらな科 葉菜類	根こぶ病	20~30	は種 または 定植前	1回	1回	全面土壌混和
		20				作条土壌混和
なばな類 (なばな、みずかけ なを除く)	根こぶ病	30	は種 または 定植前	1回	1回	全面土壌混和
みずかけな						作条土壌混和
かぶ	根こぶ病	20	は種 または 定植前	1回	1回	全面土壌混和
だいこん						作条土壌混和
ばれいしょ	そうか病	30	は種前	1回	2回以内 (種いも浸漬は1回以内、 土壌混和は1回以内)	全面土壌混和
	そうか病 粉状そうか病	60	植付時			全面土壌混和

●以下のマイナー作物(地域特産作物)にご使用になれます。

分類は「農業登録における適用作物名表」(独立行政法人 農林水産消費安全技術センター)による。

■非結球あぶらな科葉菜類

あざみな(チリメンカラシ、ハゴロモカラシナ)、あじみな(味美菜)、海野(莖葉)、大山そだち、カーボロネロ(黒キャベツ)、かほくな(河北菜)、からしな(黄からしな、葉からしな、やましおな、レッドアジアンマスタード、グリーンマスタード、セリフォン)、木曾菜、ケール(ハゴロモカンラン、リョウヨウカンラン)、こまつな(小松菜)、さがみグリーン、さめきな、さんとうさい(山東菜、べかな、非結球はくさい、半結球はくさい、いがむらさき)、四川搾菜(莖葉)(たけのこたかな)、しろな(大阪しろな、なにわ菜、京の里しろな、いなみ菜)、仙台芭蕉菜、仙台雪菜、千宝菜1号(せんぼうさい1号)、千宝菜2号(せんぼうさい2号)、タアサイ(ターサイ、ターツアイ、如月菜、きさらぎな、瓢菜、ひさごな、縮み菜、ちぢみな)、たいさい(体菜、たいな、雪白体菜、二貫目体菜、しゃくし菜、長岡菜)、たかな(高菜、かつおな、せいさい、山形青菜、三池たかな)、食べて菜、チンゲンサイ(青梗菜)、てごろ菜、長崎はくさい(長崎白菜、唐人菜、唐菜)、なかじまな(中島菜)、のざわな(野沢菜)、博多白菜、バクチョイ、はたけな(畑菜)、ひこしまはるな(彦島春菜)、ビタミン菜、姫路若菜、ひろしまな(広島菜)、べんりな、みずな(京菜、水菜、京水菜)、みぶな(壬生菜)、山形みどりな、やまとまな(大和真菜)、ルッコラ(ロケット、セルパチコ、ガルギール、エルーカ)、わさびな

■なばな類

あさまこな(朝熊小葉)、あすつこ、アレッタ、おおさきな(大崎菜)、太田かぶ(やる菜)、オータムボエム(アスパラ菜)、大野菜、かいらん、かきな(かき菜、宮内菜、宮崎菜、CO菜)、勝山水菜(平泉寺水菜、郡水菜、さんまい水菜、北水菜)、くさたちな(会津莖立菜、カブレ菜、縮輪莖立菜)、こうさいたい(紅葉苔)、さいしん(菜芯、油菜芯)、三景雪菜、四川児菜(子持たかな)、チンゲンサイ(なばな的栽培)、摘採花、つぼみな(つぼみ菜、三陸つぼみ菜、あでやかつぼみ菜)、なばな(なのはな、はなな)、のらぼうな(のらぼう菜)、博多蕾菜、はたけな(なばな的栽培)(畑菜(なばな的栽培))、はなっこりー、みずかけな(水掛菜)、めいけな(女池菜、新潟なばな)

(あぶらな科で莖葉および花を食用とするもの。ただしブロッコリー、莖ブロッコリーおよびカリフラワーを除く。)

△効果・薬害等の注意

1. 所定量を作条または全面に散布し、土壌とよく混和した後、は種、定植または植付けしてください。
2. 本剤の作条土壌混和を行う際は、本剤の所定量を畦上全面に散布し、土壌中に均一に分布するようによく混和してください。
3. つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
4. ばれいしょのそうか病に対しては、多発生条件では効果が劣る場合がありますので注意してください。
5. 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
6. みずかけなに使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヵ月以降を厳守してください。

△安全使用上の注意

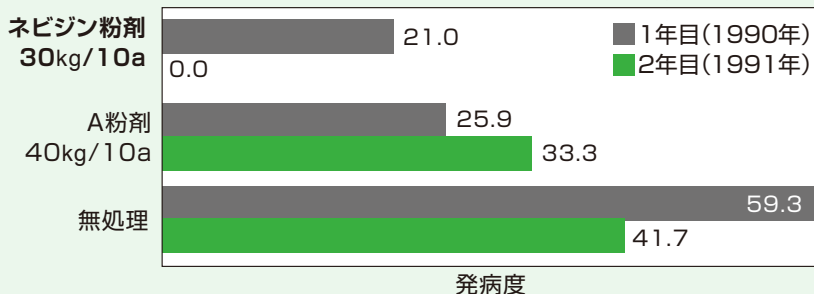
1. 誤食などのないように注意してください。
2. 本剤による中毒(痙攣)の治療法としては、動物実験でメカールパモール製剤の投与が有効であると報告されています。
3. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
4. 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
5. 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所へは置かないでください。
- 空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

ネビジン粉剤の連用により、防除効果がいっそう高まります。

●キャベツの根こぶ病に対する効果確認(連用)試験

(群馬県農総試 高冷地分場'90,'91 研究報告書より)



[1年目]●播種:6月1日 ●処理および定植:7月2日 ●調査:8月23日 [2年目]●播種:5月28日 ●処理および定植:6月28日 ●調査:8月17日

上手な
使い方

1. 碎土および土壌混和はていねいに行ってください。
2. 植穴処理は薬害が生じる恐れがありますので避けてください。
3. 土壌混和の深さは、10~15cmが適当です。
4. 根こぶ病防除の場合、石灰との併用は効果を安定化します。
5. 根こぶ病に感染している苗を移植すると効果が劣りますので、必ず根こぶ病に感染していない健全な苗を移植してください。

本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

本印刷物は平成27年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

NBJ1DS1F



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>